

福島県県立病院改革プラン総括

(平成21年度～平成25年度)

平成26年10月
福島県病院局

目 次

第 1	県立病院改革プランについて	1
1	プラン策定の背景	
2	計画期間	
3	進行管理	
第 2	県立病院改革プランの取組み	2
1	県立病院の在り方	2
	矢吹病院	
	会津医療センター（会津総合病院、喜多方病院）	
	宮下病院	
	南会津病院	
	大野病院	
2	行動計画	9
	良質な医療サービスの提供	
	収益確保と費用削減による健全な病院経営	
	医療提供体制の充実強化	
	職員の資質向上と人材育成	
	地域との連携・共生	
3	収支計画	12
第 3	今後の取組について	13

第1 県立病院改革プランについて

1. プラン策定の背景

県立病院事業は、医師不足の深刻化等により、医療提供体制の維持が極めて厳しく、医療機能を十分に発揮できない状況にあり、また、常勤医師の退職や短期交替等に伴う診療体制の変更等による患者数の減少や、診療報酬のマイナス改定の影響などにより、多額の赤字が生じるなど、これまでにない厳しい経営状況が続いてきた。

こうした中、平成19年12月に、国は公立病院改革ガイドラインを策定し、病院事業を実施する地方公共団体においては、公・民の適切な役割分担の下、地域において必要な医療提供体制を確保するため、

- 経営の効率化 再編・ネットワーク化 経営形態の見直し -
の3つの視点に沿った公立病院の抜本的な改革に関する改革プランの策定を要請している。

これにより、県においても、県立病院の在り方を再整理するとともに、『地域に必要とされる質の高い医療の提供と病院経営の健全化』を基本目標とする「福島県県立病院改革プラン」を策定し、改革に取り組んできた。

2. 計画期間

平成21年度～平成25年度の5か年

3. 進捗管理

進捗状況については、毎年、有識者で構成される県立病院事業経営評価委員会における審議の結果、『概ね妥当』との評価をいただいている。

【県立病院事業経営評価委員会開催状況】 カッコ内は議題
平成22年7月22日（21年度取組）
平成23年8月3日（22年度取組）
平成24年3月23日（23年度取組中間報告）
平成25年1月11日（23年度取組、行動計画の期間延長）
平成25年10月18日（24年度取組）
平成26年10月29日（25年度取組、21～25年度取組総括）

上記の評価結果については、ホームページ等で公表することとした。
診療報酬の改定や患者の動向など、県立病院を取り巻く環境の変化に対応するため、必要に応じ、適切な見直しを行うこととした。

第2 県立病院改革プランの取組み

1. 県立病院の在り方

政策医療を引き続き確保することを責務として、限られた医療資源を有効に活用しながら、地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供できる体制の構築を図ることを基本として、各県立病院の果たすべき役割や医療機能等を明確にするとともに、それらを踏まえた様々な取組みを推進した。

矢吹病院

〔果たすべき役割〕

措置入院患者や民間病院では受入が難しい処遇困難患者等の受け入れなどの精神医療提供

〔経営形態〕

県立病院として経営

〔医療機能及び取組成果〕

措置入院患者や処遇困難患者の受入体制の充実強化

- 保護室の効率的な運用を行うなど、措置入院患者や処遇困難患者等の積極的な受け入れを行った。

(単位：人)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
措置入院	3	7	6	10	10
処遇困難	2	0	8	12	22

心神喪失者等医療観察法に基づく患者への支援

- 同法に基づく指定入院医療機関としての指定について検討を行うとともに、病院の立地町に対して医療観察法病棟の開設等に関する説明を行った。引き続き、町に丁寧に説明を行い、医療観察法病棟開設への理解が得られるよう調整していく。

患者の地域生活移行への支援

- 外来診療に加え、訪問看護やデイケアを充実させるなど、日常生活や社会復帰するための支援を行った。

(単位：人/日)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
訪問看護	7.2	6.7	6.9	7.3	7.2
デイケア	15.7	15.8	15.0	17.6	15.1

精神科救急医療への対応

- 精神科救急医療システム指定医療機関として、月5～6回程度の救急輪番を担当した。

政策的な専門医療の実施

- 平成23年8月より県南地域では初の児童思春期外来を開設した。
(単位：人)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
患者数	-	-	178	515	629

臨床研修病院としての研修・教育機能の展開

- 県立医科大学や白河厚生病院等と連携しながら、臨床研修病院（協力型）として、臨床研修医や学生への研修、教育を行った。
(単位：人)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
臨床研修医	5	7	5	5	8

〔病院規模〕

平成24年度に4病棟から3病棟とする病棟再編を実施する。

- 未実施。引き続き病棟再編に向けて検討を行う。

会津医療センター（会津総合病院、喜多方病院）

〔果たすべき役割〕

「診療」・「教育」・「研究」の3つの機能を柱とする。
地域医療の確保や人材の育成等の拠点と位置づける。

〔経営形態〕

公立大学法人県立医科大学の附属病院に移行

〔取組成果〕

会津医療センター整備の経過

- ・平成17年3月 会津総合病院と喜多方病院の統合整備を含む基本方針を決定
- ・平成19年10月 基本設計完了
- ・平成20年10月 県立医科大学の附属病院化を決定
- ・平成22年8月 実施設計完了
- ・平成22年11月 建築・設備工事に着手
- ・平成25年3月 建物完成
- ・平成25年5月 会津医療センターを開院

診療機能等

- へき地医療をはじめとする政策医療並びに地域特性に対応した医療を提供するとともに、県立医科大学附属病院として新たに備える教育研究機能を発揮し、本県医療の向上にも貢献することを基本として、県立医科大学と協議を進め、診療機能等の在り方を決定した。

【診療機能】

- ・病院として必要な基本診療科を設置する。
- ・基本診療科においては、他の医療機関との役割分担を踏まえ、高度医療、専門領域に特化した医療を中心に診療を行う。
- ・結核医療、感染症医療、地域医療等の政策医療を提供する。
- ・地域に不足する診療科、高齢化等地域の特性に応じた診療科を設置、強化する。

診療科

総合内科 / 漢方内科 / 漢方外科 / 循環器内科 / 血液内科 / 消化器内科 / 糖尿病・代謝・腎臓内科 / 感染症・呼吸器内科 / 神経内科 / 心身医療科 / 外科 / 小腸・大腸・肛門科 / 整形外科・脊椎外科 / 眼科 / 皮膚科 / 泌尿器科 / 耳鼻咽喉科 / 放射線科 / 麻酔科 / 病理診断科 / 歯科 / リハビリテーション科 / 緩和ケア科 / 心臓血管外科 24科

【病床数】

226床（一般175床、緩和ケア25床、集中4床、結核14床、感染症8床）

【教育研究】

- ・学部研究：臨床研修医、専攻医の積極的受入れ
- ・研究部門：漢方医学研究室、臨床疫学研究室、医療工学研究室）

宮下病院

〔果たすべき役割〕

へき地における医療提供

〔経営形態〕

県立病院として経営

〔医療機能及び取組成果〕

急性期医療の実施

- 当診療圏唯一の病院として緊急の内科的・外科的処置に対応する医療機能を確保し、県立医科大学等の支援を受けながら、この地域に不足している、高齢者に多い運動器や感覚器の疾患に対応する医療の提供に努めた。

	21年度	22年度	23年度	常設 24年度	非常設 25年度
内科					
外科					
整形外科					
耳鼻咽喉科					
皮膚科					
神経精神科					
循環器内科					

へき地における医療の確保

- へき地医療拠点病院として、国保診療所等への医師派遣機能を維持するとともに、訪問診療・訪問看護等により住民の医療を確保するなど、県内で最も高齢化率が高い地域特性に対応した医療の提供に努めた。

(単位：回)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
医師派遣	285	296	295	286	140
訪問診療	73	57	131	121	84
訪問看護	70	42	46	10	44

臨床研修協力施設としての研修・教育機能の展開

- 県立医科大学や自治医科大学等と連携しながら、臨床研修協力施設として、臨床研修医や学生への研修、教育を行った。

(単位：人)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
臨床研修医	0	1	2	1	1

地域住民の健康増進への支援

- 健康診断・人間ドック事業や待ち時間を活用した院内健康教室の開催、職員による出前講座などを実施した。

(単位：人)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
健診・ドック	237	275	231	292	247

(単位：回)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
健康教室	13	11	6	13	22
出前講座	24	24	18	29	21

〔病院規模〕

平成21年度に病床数を削減（55床 32床）する。

- 実施済み。

南会津病院

〔果たすべき役割〕
へき地における医療提供

〔経営形態〕
県立病院として経営

〔医療機能及び取組成果〕
急性期医療の実施

- 南会津地域における唯一の病院として、入院・専門外来に係る医療機能を確保し、県立医科大学等の支援を受けながら、急性期医療の実施に努めた。

	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 常設 非常設 </div>				
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
内科					
神経内科					
外科					
整形外科					
眼科					
耳鼻咽喉科					
小児科					
皮膚科					
泌尿器科					
神経精神科					
産婦人科	産科は休診				

へき地における医療の確保

- へき地医療拠点病院として、国保診療所等への医師派遣機能を維持するなど、へき地医療の提供体制の確保に努めた。

(単位：回)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
医師派遣	31	28	30	22	23

救急医療への対応

- 県医療計画において第二次救急医療機関に位置付けられており、引き続き救急医療を実施した。

(単位：人)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
時間外診療患者数	3,841	3,823	4,424	4,573	4,484

(単位：回)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
救急車受入	691	702	807	824	789

災害時医療への対応

- 大規模災害時に多発する重篤救急患者への救命医療に対応するため、地域災害医療センターとして、引き続き災害時医療を実施した。

・平成23年3月に発生した東日本大震災においては、被害があった会津地域の病院や相双地域の病院から延べ37人の入院患者の受け入れを行うなど、積極的に後方支援を行った。

・災害拠点病院としての機能の充実を図るため、非常用電源対応のコンセントの配置拡充等を実施したほか、災害派遣チーム（DMAT）を設置するため、DMAT隊員の養成に向けて災害派遣医療チーム研修へ参加し、5名の隊員を確保した。

総合的な医療提供体制の確立

- 広大な面積を有する診療圏において、患者の利便性を考慮する必要があることから、地域の中核病院として、二次医療を中心に、診断・治療からリハビリテーションに至る総合的な医療提供体制の確立に努めた。

・地域からの要望に応じ、平成21年度に透析機器を7台増設し、19台としたほか、平成22年3月に神経精神科を開設した。

・地域リハビリテーション広域支援センターとして、理学療法士3名体制及び柔道整復師1名体制でリハビリテーションを実施した。

(単位：件/日)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
リハビリ実施	18.4	40.0	33.3	28.6	40.6
うち入院	14.8	35.7	30.1	25.6	33.2
うち外来	3.6	4.3	3.2	3.0	7.4

〔病院規模〕

平成21年度に3病棟から2病棟へ病棟再編し、病床数を削減（150床100床）する。

- 実施済み。

大野病院

〔果たすべき役割〕

医療拠点としての中核的機能
二次救急医療への対応

〔経営形態〕

福島県厚生農業協同組合連合会（以下「厚生連」という。）が運営する
双葉厚生病院と統合する方向で検討

〔取組成果〕

平成23年4月1日に県立大野病院と双葉厚生病院を統合し、双葉地域の中核病院としての整備を図り、地域内で完結できるような救急医療の体制を構築するため、平成22年7月5日に県とJA厚生連で基本協定を締結したものの、平成23年3月11日に発生した東日本大震災を契機とした福島第一原子力発電所事故の影響により統合延期を申し合わせた。

今後は、延期している統合を再構築する中で、関係町村等の意向を踏まえながら、関係機関と協議を進め、双葉地域の復興に向けた医療課題の解決に向け、当面の医療需要に応じた規模の医療施設の整備を検討する。また、長期的には、住民帰還の動向に応じ、医療提供体制の規模を拡張させるなど、医療需要の変化に伴う段階的な対応を検討する。

2. 行動計画

基本目標である『地域に必要とされる質の高い医療の提供と病院経営の健全化』に向けて、次の5つの基本方針に基づく取組を推進した。

良質な医療サービスの提供

医療の質と患者サービスの向上を図りながら、患者さんの満足度の向上に努めた。

〔主な取組〕

インフォームド・コンセントの充実（共通）
病院機能評価Ver6の認定更新（矢吹、宮下、南会津病院）
無料送迎バスの運行（矢吹、宮下病院）
訪問看護の実施（矢吹、宮下病院）
訪問診療の実施（宮下病院）

〔目標指標〕

	患者満足度調査による患者満足度（単位：％）				
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
目標	76.0	80.0	85.0	85.0	85.0
実績	77.4	75.1	未実施	71.5	76.0

（注）平成23年度は東日本大震災対応のため未実施。

収益確保と費用削減による健全な病院経営

医療機能の充実や人件費の抑制などを図りながら、経営基盤の確立に努めた。

〔主な取組〕

査定減対策、診療報酬請求漏れ対策の推進（共通）
医療相談の実施等による未収金発生未然防止（共通）
物品の一元管理・供給による医薬品費等の削減（共通）
病棟再編等に伴う職員の適正配置
（喜多方、会津総合、宮下、南会津病院）
高齢化等地域の特性に応じた診療科の設置（宮下、南会津病院）
外来患者に対する精神科作業療法の実施（矢吹病院）
透析機器の増設による透析機能の強化（南会津病院）

〔目標指標〕

	経常収支比率（単位：％）				
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
目標	86.0	88.0	94.0	94.0	100.0
実績	87.3	88.7	92.6	94.1	98.4

過年度未収金残高		(単位：百万円)				
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
目標	93	90	88	75	72	
実績	88	82	79	71	69	

職員給与費対医業収益比率（一般病院）		(単位：%)				
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
目標	97.0	92.0	87.0	85.0	83.0	
実績	106.9	98.4	92.1	82.8	93.6	

医療提供体制の充実強化

地域住民に安全で安心な医療を提供し、信頼される病院を目指していくため、医師の確保・育成や診療体制の充実を図るとともに、医療安全対策の強化に努めた。

〔主な取組〕

- 医師紹介事業者やインターネットの活用など、公募による医師確保(共通)
- 専任の医療安全担当の配置(共通)
- アクシデント・インシデント事例の検証(共通)
- 臨床研修医の受入(矢吹、会津総合、宮下、南会津病院)

〔目標指標〕

常勤医師数		(単位：人)				
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
目標	57	67	60	62	23	
実績	57	64	61	62	21	

(注) 22年度～24年度は、会津医療センター準備室付け医師が含まれている。

医療安全研修会参加率		(単位：%)				
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
目標	85.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
実績	76.1	66.6	64.4	59.6	81.6	

職員の資質向上と人材育成

職員の勤務意欲と能力の向上を図るため、職員の研修機会の確保や資格取得への支援等に努めた。

〔主な取組〕

- 各種研修会への参加や院内教育の充実(共通)
- 認定看護師の養成(共通)
- 職員提案制度、職員表彰制度の実施(共通)

〔目標指標〕

資格取得者支援者数		(単位：人)				
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
目標	20	20	20	18	10	
実績	38	13	13	19	11	

職員提案件数		(単位：人)				
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
目標	140	155	140	100	40	
実績	105	115	93	50	42	

地域との連携・共生

地域の医療機関や介護福祉施設等との連携を強化するとともに、地域住民との交流事業を積極的に展開するなど、地域住民に信頼され、親しまれる病院づくりに努めた。

〔主な取組〕

- 出前講座の実施（矢吹、会津総合、宮下、南会津病院）
- 院内イベントの開催（矢吹、喜多方、宮下、南会津病院）
- 院外広報紙の発行及び町広報誌への情報提供
(矢吹、宮下、南会津病院)
- 公開講座の開催（矢吹、会津総合病院）
- ボランティアの受入（矢吹病院）
- 入院患者のグループホーム等への円滑移行（矢吹病院）

〔目標指標〕

紹介率		(単位：%)				
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
目標	18.0	19.0	20.0	20.0	16.0	
実績	16.7	17.2	17.2	21.8	13.8	

病床利用率（一般病床）		(単位：%)				
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
目標	54.0	59.0	68.0	75.0	73.0	
実績	47.6	52.2	65.6	62.9	58.0	

3. 収支計画

経営改善に向けて、次の2つの収支目標を掲げ、取組を推進した。

単年度赤字の漸次解消を図り、平成25年度までに収支均衡

〔純損益の状況〕

経営改善に鋭意取り組んでいるが、収支均衡には至っていない。

(単位：百万円)

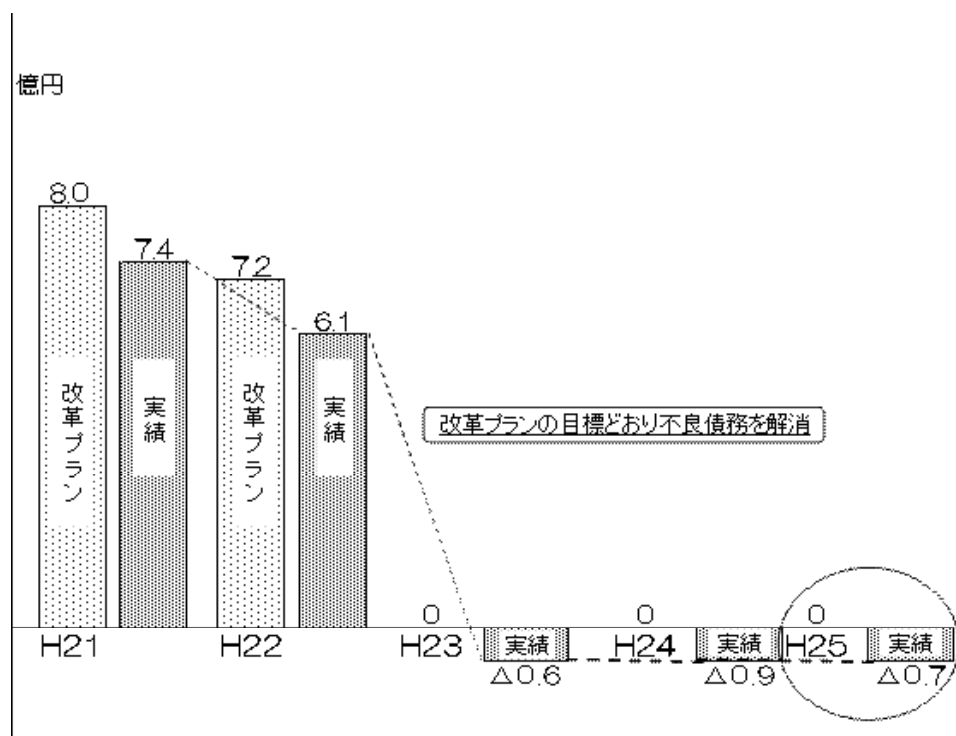
病院名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
矢吹病院	0	0	0	0	0
喜多方病院	175	308	348	394	-
会津総合病院	939	1,457	1,602	1,262	250
宮下病院	1	1	1	1	0
南会津病院	1	1	2	2	2
大野病院	574	725	298	280	265
本局	43	1,024	1,304	966	138
合計	1,734	1,468	946	973	656

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、表中の計算が合わないことがある。

平成23年度までに不良債務の解消

〔不良債務の状況〕

計画どおり不良債務を解消した。



第3 今後の取組について

平成21年度から平成25年度までの5年間を計画期間とする「福島県県立病院改革プラン」は終了したが、今後もめまぐるしく変動する社会や医療情勢の変化に迅速に対応しながら、安定した経営の下、質の高い医療サービスを安定的に提供する必要がある。

そのため、平成26年度以降の新たな経営指針として、本プランの後継計画である「第二次福島県県立病院改革プラン（平成26年度～平成28年度）」を平成26年3月に策定した。

引き続き、これまでの改革の視点を承継しながら、基本目標である『地域に必要とされる質の高い医療の提供と病院経営の健全化』の実現に向けて、全職員一丸となって取り組んでいく。